

平成21年9月期 第2四半期決算短信

平成21年5月1日

上場会社名 マルサンアイ株式会社

コード番号 2551

代表者(役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理統括部長

四半期報告書提出予定日 平成21年5月1日

上場取引所名

URL <http://www.marusanai.co.jp/>

(氏名)青木春雄

(氏名)伊藤明徳 TEL (0564)27 3700

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第2四半期の連結業績(平成20年9月21日～平成21年3月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
21年9月期第2四半期	百万円 10,072	百万円 431	百万円 306	百万円 129
20年9月期第2四半期	% 8,972 3.5	% 97 186.4	% 137	% 896

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
21年9月期第2四半期	円 11 36	円 11 36
20年9月期第2四半期	78 61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
21年9月期第2四半期	百万円 14,845	百万円 2,249	% 15.1	円 196 84
20年9月期	14,932	2,156	14.4	188 83

(参考) 自己資本

21年9月期第2四半期

2,244百万円

20年9月期

2,152百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年9月期	円 0 00	円 0 00	円 0 00	円 0 00	円 0 00
21年9月期					
21年9月期(予想)				5 00	5 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年9月20日～平成21年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 19,835 9.3	百万円 590 123.2	百万円 436 310.5	百万円 180	円 15 80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年9月期第2四半期 11,480,880株 20年9月期

11,480,880株

期末自己株式数

21年9月期第2四半期 79,910株 20年9月期

79,650株

期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年9月期第2四半期 11,401,056株 20年9月期第2四半期

11,402,085株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融不安の影響により、企業収益及び個人消費が悪化し、景気の後退が顕著になってまいりました。

食品業界全般におきましては、消費者の「食の安全・安心」への意識が高まる中、各企業において、コンプライアンス（法令遵守）に取り組む動きが進んでおります。また、景気の後退に伴い、内食傾向が強まっております。そのような状況の中、小売店等においては、PB商品への注力や様々なサービスを付加するなど販売状況に変化が見られます。

みそ業界におきましては、みその値上げによる影響で出荷量が減少しており、その回復に努める動きが各社において進んでおります。

豆乳業界におきましては、健康飲料の多様化により、数年前より需要は減少傾向にありましたが、平成20年春以降回復傾向にあります。これは、健康志向の高まりの中、大豆の良さが見直され、消費者の方が再度豆乳に注目するようになったことが考えられます。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、積極的な新製品の開発や、安全・衛生・品質管理の徹底を図り、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、豆乳の業績が順調に推移し、売上高は、100億72百万円（前年同期比12.3%増）、コスト削減に努めた結果、営業利益は、4億31百万円（前年同期比344.2%増）、経常利益は、3億6百万円（前年同期は1億37百万円の損失）、四半期純利益は、1億29百万円（前年同期は8億96百万円の損失）となりました。

(1) みそ事業

主にストレート鍋スープが好調に推移したため、売上高は、34億17百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は、52百万円となりました。

生みそ

出荷数量は、前年同期と比べ減少しておりますが、売上高は、ほぼ前年同期並みの24億65百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

調理みそ

景気の後退とともに内食傾向が進み、「キムチ鍋スープ」、「坦々ごまみそ鍋スープ」等のストレート鍋スープの需要が増加いたしました。売上高は、7億1百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

即席みそ

特定企業向けの製品や国産素材の製品が好調だったものの、多食タイプの製品が苦戦し、売上高は、2億51百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

(2) 豆乳飲料事業

豆乳が順調に回復したため、売上高は、59億71百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益は、3億22百万円となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC.につきましては、持分法による投資利益4百万円を営業外収益に計上しております。

豆乳

平成20年5月より前年実績を上回り、その後も順調に回復し、売上高は、42億96百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

飲料

流動食が堅調に推移し、売上高は、16億74百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(3) その他の事業

「寄せ鍋スープ」、「ちゃんこ鍋スープ」等のストレート鍋スープの需要が増加し、売上高は、6億83百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は、56百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、70億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加2億28百万円等によるものであります。

固定資産は、78億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億50百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少1億38百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、148億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少いたしました。

負債

流動負債は、71億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億89百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少3億14百万円等によるものであります。

固定負債は、54億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の減少95百万円があったものの、デリバティブ債務の増加1億9百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、125億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億79百万円減少いたしました。

純資産

純資産は、22億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加1億29百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億30百万円増加し、13億11百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5億60百万円となりました。これは、仕入債務の減少額3億14百万円、たな卸資産の増加額69百万円等の資金減少に対し、減価償却費3億9百万円、税金等調整前四半期純利益2億82百万円、デリバティブ評価損1億9百万円等の資金増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1億円等の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2億20百万円となりました。これは、長期借入れによる収入13億円等による資金増加に対し、長期借入金の返済による支出15億22百万円等の資金減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融不安に伴う、企業収益及び個人消費の悪化等、厳しい経済環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、上半期におきましては、健康志向の高まりの中、豆乳の売上が予想を上回り、連結業績は好調に推移しておりますが、下半期におきましては、大豆及び米の原材料価格の高騰並びにみそ・豆乳共に不況下での競争激化により、売上・利益は相当影響を受けるものと予測しております。その結果、平成21年9月期の連結業績予想につきましては、売上高198億35百万円（前期比9.3%増）、営業利益5億90百万円（前期比123.2%増）、経常利益4億36百万円（前期比310.5%増）、当期純利益1億80百万円（前期は6億96百万円の損失）を予測しております。

なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。また、前連結会計年度まで営業外費用に計上しておりました「たな卸資産処分損」は、第1四半期連結会計期間より売上原価に含めております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益が37,881千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が18,176千円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。当該変更に伴う資産及び当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の一部(構築物、機械装置)について耐用年数を変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,398千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,181	1,211,292
受取手形及び売掛金	2 3,213,918	2 3,283,480
商品及び製品	510,260	514,448
仕掛品	560,159	560,937
原材料及び貯蔵品	569,617	495,218
その他	733,517	800,370
貸倒引当金	1,924	3,552
流動資産合計	7,025,730	6,862,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1 2,876,127	1 2,832,185
機械装置及び運搬具（純額）	1 1,636,088	1 1,774,209
土地	2,595,349	2,595,349
その他（純額）	1 57,685	1 122,090
有形固定資産合計	7,165,250	7,323,836
無形固定資産	52,879	50,466
投資その他の資産		
投資有価証券	474,281	529,787
その他	130,018	168,776
貸倒引当金	2,931	2,727
投資その他の資産合計	601,369	695,836
固定資産合計	7,819,499	8,070,139
資産合計	14,845,230	14,932,335

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 1,980,410	2 2,294,840
1年内返済予定の長期借入金	2,553,457	2,680,102
未払法人税等	160,096	36,513
賞与引当金	344,644	289,297
未払金	1,541,384	1,550,024
その他	2 541,641	2 460,015
流動負債合計	7,121,634	7,310,792
固定負債		
長期借入金	3,534,754	3,630,115
退職給付引当金	1,489,697	1,468,222
役員退職慰労引当金	168,441	164,745
その他	281,170	201,637
固定負債合計	5,474,064	5,464,720
負債合計	12,595,699	12,775,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	657,881	657,881
利益剰余金	834,050	704,583
自己株式	46,669	46,591
株主資本合計	2,310,705	2,181,317
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,004	17,601
為替換算調整勘定	49,551	10,873
評価・換算差額等合計	66,556	28,474
少数株主持分	5,381	3,979
純資産合計	2,249,531	2,156,822
負債純資産合計	14,845,230	14,932,335

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成21年3月20日)	
売上高	10,072,338
売上原価	7,305,747
売上総利益	2,766,591
販売費及び一般管理費	¹ 2,335,364
営業利益	431,226
営業外収益	
受取利息	1,772
技術指導料	28,461
賃貸収入	11,985
持分法による投資利益	4,146
その他	33,436
営業外収益合計	79,802
営業外費用	
支払利息	45,955
デリバティブ評価損	109,997
為替差損	36,680
その他	11,867
営業外費用合計	204,501
経常利益	306,527
特別利益	
固定資産売却益	630
貸倒引当金戻入額	1,627
特別利益合計	2,258
特別損失	
固定資産除却損	513
投資有価証券評価損	26,066
特別損失合計	26,579
税金等調整前四半期純利益	282,206
法人税等	151,337
少数株主利益	1,402
四半期純利益	129,466

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
 (自 平成20年12月21日
 至 平成21年3月20日)

売上高	4,694,669
売上原価	3,475,661
売上総利益	1,219,007
販売費及び一般管理費	¹ 1,152,427
営業利益	66,580
営業外収益	
受取利息	1,300
技術指導料	8,771
賃貸収入	6,023
持分法による投資利益	153
デリバティブ評価益	96,151
その他	19,273
営業外収益合計	131,673
営業外費用	
支払利息	21,588
為替差損	216
その他	5,066
営業外費用合計	26,871
経常利益	171,382
特別利益	
固定資産売却益	630
貸倒引当金戻入額	209
特別利益合計	840
特別損失	
固定資産除却損	213
投資有価証券評価損	14,481
特別損失合計	14,694
税金等調整前四半期純利益	157,528
法人税等	85,606
少数株主損失()	19
四半期純利益	71,941

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成21年3月20日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	282, 206
減価償却費	309, 075
貸倒引当金の増減額(は減少)	1, 424
賞与引当金の増減額(は減少)	55, 347
退職給付引当金の増減額(は減少)	21, 475
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3, 696
受取利息及び受取配当金	3, 298
投資有価証券売却損益(は益)	170
持分法による投資損益(は益)	4, 146
支払利息	45, 955
為替差損益(は益)	9, 524
投資有価証券評価損益(は益)	26, 066
デリバティブ評価損益(は益)	109, 997
有形固定資産除却損	8
売上債権の増減額(は増加)	69, 505
たな卸資産の増減額(は増加)	69, 433
仕入債務の増減額(は減少)	314, 429
未払金の増減額(は減少)	74, 508
その他	19, 484
小計	634, 289
利息及び配当金の受取額	3, 342
利息の支払額	48, 155
法人税等の支払額	28, 695
法人税等の還付額	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	560, 789
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	100, 796
投資有価証券の取得による支出	5, 991
投資有価証券の売却による収入	1, 324
その他	5, 094
投資活動によるキャッシュ・フロー	100, 368
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1, 300, 000
長期借入金の返済による支出	1, 522, 006
その他の収入	99, 000
その他の支出	97, 578
財務活動によるキャッシュ・フロー	220, 584
現金及び現金同等物に係る換算差額	9, 448
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	230, 388
現金及び現金同等物の期首残高	1, 081, 292
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 1, 311, 681

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年12月21日 至 平成21年3月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,531,614	2,907,472	255,582	4,694,669		4,694,669
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,531,614	2,907,472	255,582	4,694,669		4,694,669
営業利益	55,500	123,802	1,721	66,580		66,580

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年9月21日 至 平成21年3月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,417,941	5,971,186	683,211	10,072,338		10,072,338
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	3,417,941	5,971,186	683,211	10,072,338		10,072,338
営業利益	52,234	322,849	56,143	431,226		431,226

(注) 1 事業の区分は、製品の系列を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) みそ事業.....みそ、即席みそ、調理みそ
- (2) 豆乳飲料事業.....豆乳、飲料、水
- (3) その他の事業.....その他食品、他社商品

3 会計基準に関する事項の変更

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。また、前連結会計年度まで営業外費用に計上しておりました「たな卸資産処分損」は、第1四半期連結会計期間より売上原価に含めております。これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益は、みそ事業が20,332千円、豆乳飲料事業が13,724千円、その他の事業が3,824千円減少しております。

- 4 当社及び連結子会社は、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の一部(構築物、機械装置)について耐用年数を変更しております。これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益は、みそ事業が3,071千円増加、豆乳飲料事業が6,472千円減少、その他の事業が2千円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年12月21日 至 平成21年3月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年9月21日 至 平成21年3月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年12月21日 至 平成21年3月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年9月21日 至 平成21年3月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月20日)	前連結会計年度末 (平成20年9月20日)												
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 11,893,659千円 減価償却累計額には、減損損失累計額を含んでおりります。</p> <p>2 四半期末日満期手形 四半期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期末日満期手形が四半期末残高に含まれております。</p> <table> <tr> <td>受取手形</td> <td>9,058千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td>38,388千円</td> </tr> <tr> <td>設備支払手形</td> <td>829千円</td> </tr> </table>	受取手形	9,058千円	支払手形	38,388千円	設備支払手形	829千円	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 11,676,613千円 同左</p> <p>2 期末日満期手形 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。</p> <table> <tr> <td>受取手形</td> <td>11,060千円</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td>32,386千円</td> </tr> <tr> <td>設備支払手形</td> <td>630千円</td> </tr> </table>	受取手形	11,060千円	支払手形	32,386千円	設備支払手形	630千円
受取手形	9,058千円												
支払手形	38,388千円												
設備支払手形	829千円												
受取手形	11,060千円												
支払手形	32,386千円												
設備支払手形	630千円												

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成21年3月20日)												
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給与手当</td> <td>480,054千円</td> </tr> <tr> <td>支払運賃</td> <td>902,387千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>161,319千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>36,252千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>16,386千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>244千円</td> </tr> </table>	給与手当	480,054千円	支払運賃	902,387千円	賞与引当金繰入額	161,319千円	退職給付費用	36,252千円	役員退職慰労引当金繰入額	16,386千円	貸倒引当金繰入額	244千円
給与手当	480,054千円											
支払運賃	902,387千円											
賞与引当金繰入額	161,319千円											
退職給付費用	36,252千円											
役員退職慰労引当金繰入額	16,386千円											
貸倒引当金繰入額	244千円											

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年12月21日 至 平成21年3月20日)										
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給与手当</td> <td>234,371千円</td> </tr> <tr> <td>支払運賃</td> <td>430,416千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>76,881千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>18,126千円</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>5,688千円</td> </tr> </table>	給与手当	234,371千円	支払運賃	430,416千円	賞与引当金繰入額	76,881千円	退職給付費用	18,126千円	役員退職慰労引当金繰入額	5,688千円
給与手当	234,371千円									
支払運賃	430,416千円									
賞与引当金繰入額	76,881千円									
退職給付費用	18,126千円									
役員退職慰労引当金繰入額	5,688千円									

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成21年3月20日)						
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年3月20日)</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>1,440,181千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td>128,500千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>1,311,681千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,440,181千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	128,500千円	現金及び現金同等物	1,311,681千円
現金及び預金勘定	1,440,181千円					
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	128,500千円					
現金及び現金同等物	1,311,681千円					

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)中間連結損益計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年9月21日 至 平成20年3月20日)
	金額(千円)
売上高	8,972,378
売上原価	6,588,791
売上総利益	2,383,586
販売費及び一般管理費	2,286,508
営業利益	97,078
営業外収益	
1 受取利息	2,108
2 技術指導料収入	23,710
3 貸貸収入	11,163
4 持分法による投資利益	12,243
5 その他	9,496
営業外収益合計	58,722
営業外費用	
1 支払利息	56,155
2 たな卸資産処分損	15,494
3 デリバティブ評価損	184,782
4 為替差損	13,173
5 その他	23,421
営業外費用合計	293,027
経常損失	137,226
特別利益	
1 固定資産売却益	358
2 貸倒引当金戻入額	774
特別利益合計	1,132
特別損失	
1 固定資産除却損	276
2 投資有価証券評価損	2,789
特別損失合計	3,065
税金等調整前中間純損失	139,159
法人税等	756,078
少数株主利益	1,126
中間純損失	896,364

(2) (要約)中間連結キャッシュ・フロー計算書

		前中間連結会計期間 (自 平成19年9月21日 至 平成20年3月20日)
区分	金額(千円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失()	139,159	
減価償却費	342,326	
貸倒引当金の増減額(は減少)	774	
賞与引当金の増減額(は減少)	73,869	
退職給付引当金の増減額(は減少)	33,963	
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12,712	
受取利息及び受取配当金	3,413	
持分法による投資損益(は益)	12,243	
支払利息	56,155	
為替差損益(は益)	17,281	
デリバティブ評価損益(は益)	184,782	
有形固定資産除却損	23	
売上債権の増減額(は増加)	276,704	
たな卸資産の増減額(は増加)	134,956	
仕入債務の増減額(は減少)	244,261	
未払金の増減額(は減少)	23,326	
その他	334,616	
小計	917,703	
利息及び配当金の受取額	3,387	
利息の支払額	53,872	
法人税等の支払額	2,695	
法人税等の還付額	17,230	
営業活動によるキャッシュ・フロー	881,752	
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	265,067	
投資有価証券の取得による支出	8,270	
投資有価証券の売却による収入	11,400	
その他	116,202	
投資活動によるキャッシュ・フロー	145,734	
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,200,000	
長期借入金の返済による支出	1,574,787	
社債償還による支出	401,200	
配当金の支払額	57,015	
その他の収入	99,000	
その他の支出	98,065	
財務活動によるキャッシュ・フロー	167,931	
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,281	
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	886,667	
現金及び現金同等物の期首残高	624,000	
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,510,668	

(3) (要約)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年9月21日 至 平成20年3月20日)

	みそ事業 (千円)	豆乳飲料事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,317,709	5,021,091	633,577	8,972,378		8,972,378
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	3,317,709	5,021,091	633,577	8,972,378		8,972,378
営業利益	11,265	49,325	36,486	97,078		97,078

(注) 1 事業の区分は、製品の系列を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) みそ事業.....みそ、即席みそ、調理みそ
- (2) 豆乳飲料事業.....豆乳、飲料、水
- (3) その他の事業.....その他食品、他社商品

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年9月21日 至 平成20年3月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前中間連結会計期間(自 平成19年9月21日 至 平成20年3月20日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

平成 21 年 9 月期第 2 四半期決算発表(連結)【参考資料】

マルサンアイ株式会社

(コード番号 2551 名証二部)

1. 業績の推移

(%表示は対前期増減率)

	平成 20 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 21 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 20 年 9 月期		平成 21 年 9 月期 (予想)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	8,972	3.5	10,072	12.3	18,147	0.2	19,835	9.3
営 業 利 益	97	186.4	431	344.2	264		590	123.2
経 常 利 益	137		306		106		436	310.5
四 半 期(当期)純利益	896		129		696		180	

2. セグメント別売上高の推移

(%表示は対前期増減率)

	平成 20 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 21 年 9 月期 第 2 四半期(累計)		平成 20 年 9 月期		平成 21 年 9 月期 (予想)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
生 み そ	2,431	2.2	2,465	1.4	4,517	2.9	4,753	5.2
調 理 み そ	625	13.8	701	12.0	935	11.6	1,010	8.0
即 席 み そ	260	6.2	251	3.4	508	6.8	489	3.8
み そ 事 業 計	3,317	0.1	3,417	3.0	5,962	1.3	6,253	4.9
豆 乳	3,390	10.9	4,296	26.7	7,631	1.3	8,952	17.3
飲 料	1,630	4.3	1,674	2.7	3,633	3.4	3,662	0.8
豆 乳 飲 料 事 業 計	5,021	6.5	5,971	18.9	11,264	0.1	12,615	12.0
そ の 他 事 業	633	2.8	683	7.8	921	3.5	966	4.8
合 計	8,972	3.5	10,072	12.3	18,147	0.2	19,835	9.3

3. 財政状態の推移

	平成 20 年 9 月期		平成 21 年 9 月期 第 2 四半期		平成 21 年 9 月期(予想)	
	百万円		百万円		百万円	
総 資 産		14,932		14,845		15,021
純 資 産		2,156		2,249		2,375
自 己 資 本 比 率		14.4%		15.1%		15.8
1 株 当 た り 純 資 産		188 円 83 銭		196 円 84 銭		206 円 94 銭

4. キャッシュ・フローの推移

	平成 20 年 9 月期		平成 21 年 9 月期 第 2 四半期		平成 21 年 9 月期(予想)	
	百万円		百万円		百万円	
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー		1,134		560		1,060
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー		237		100		470
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー		428		220		361
現 金 及 び 現 金 同 等 物 期 末 残 高		1,081		1,311		1,310

5. 配当の状況

	平成 19 年 9 月期	平成 20 年 9 月期	平成 21 年 9 月期(予想)
1 株 当 た り 配 当 額	5 円 00 銭		5 円 00 銭
配 当 性 向			31.6%

6. 設備投資額及び減価償却費の推移

	平成 19 年 9 月期	平成 20 年 9 月期	平成 21 年 9 月期(予想)
設 備 投 資 額	百万円 643	百万円 275	百万円 631
減 価 償 却 費	689	697	663

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。